



セミナー開始に当たってのご案内

1. 録画をします
2. ご質問は画面の Q&A ボタンを押して入力してください
3. セミナー終了後は「退出」ボタンを押していただくとアンケート画面に移ります
今後のセミナー運営の参考にしますのでご回答をお願いします

光世証券株式会社

かぶオプチーム



本日のかぶオプセミナーの内容

1. 商品のご説明
2. かぶオプ市場の現状
3. 取引の例(実例 ・ シュミレーション)

光世証券株式会社

コンサルティング・グループ 樋爪功次

1 有価証券オプション(かぶオブ)の商品知識

➤ そもそもオプション取引とは

- 対象銘柄(株式やETF)をあらかじめ定めた日(取引最終日)に、あらかじめ定めた価格(権利行使価格)で取引する権利を売買すること
- オプションには、コールオプションとプットオプションがある
- コールオプションを保有する人(コールオプションの買い手)は権利を行使して対象銘柄を権利行使価格で買うことができる
→ オプションの売り手はそれに応える義務がある(株を売る)
- プットオプションを保有する人(プットオプションの買い手)は権利を行使して対象銘柄を権利行使価格で売ることができる
→ オプションの売り手はそれに応える義務がある(株を買う)
- オプションを売買する価格をプレミアムと言う
- 権利が行使されると新たに対象銘柄(株式やETF)の売買が発生
取引最終日の4営業日後に受け渡しが行われる

➤ 商品概要

- 対象銘柄 東京証券取引所に上場するETFを含む229銘柄
(2025年1月30日現在)
- 限 月 直近2限月及び3・6・9・12月の直近2限月
3月27日現在、4・5・6・9月限が取引可能
- 権利行使 取引最終日の引け後(ヨーロピアンタイプ)
- 取引最終日 各月の第二金曜日の前日
(4月限の取引最終日は4月10日)

➤ 銘柄の例

- トヨタ 4月限 3,000円 コール・オプション
- ソフトバンクG 4月限 8,000円 プット・オプション

2 個別株オプション(かぶオプ)取引の現状 ①

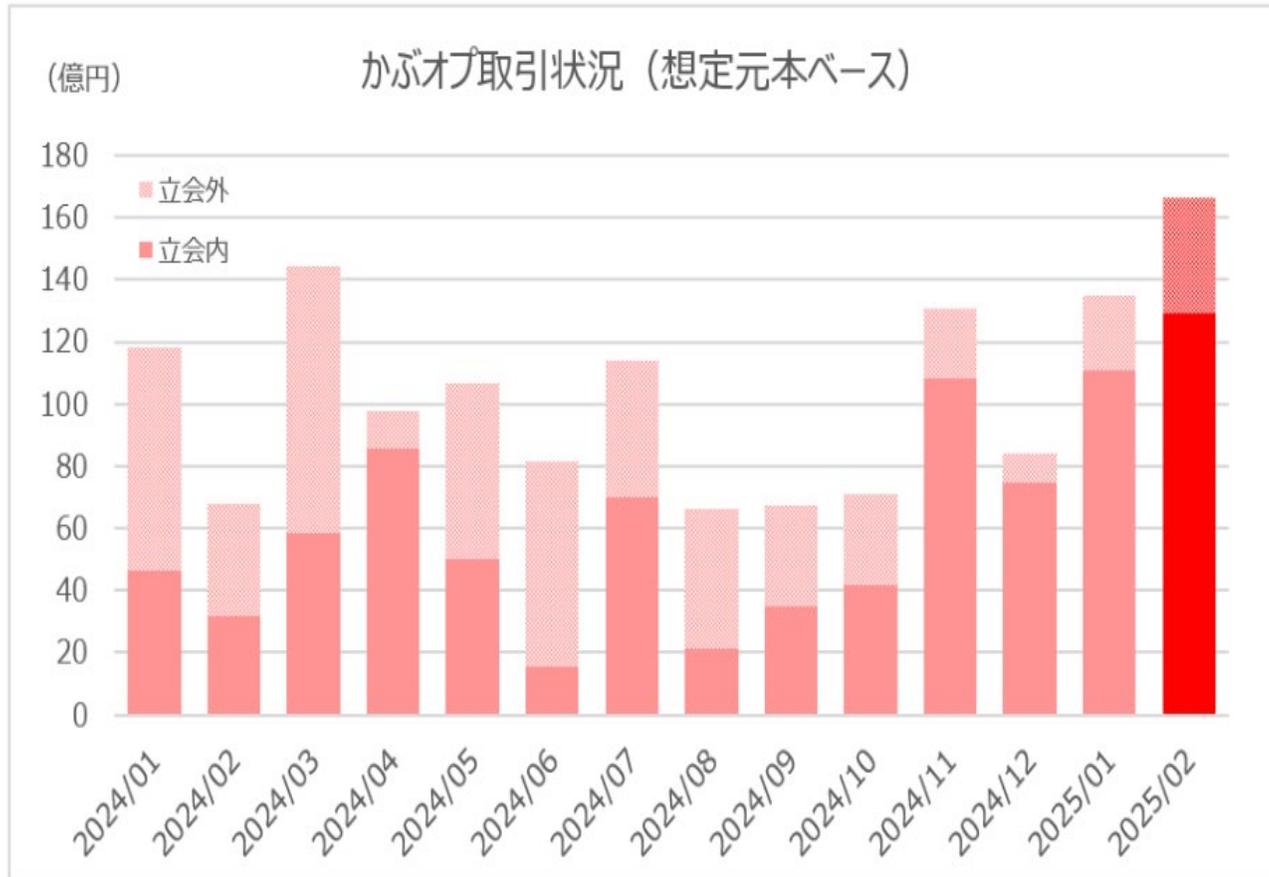
【マーケットメイク】

2025年3月27日現在
常時マーケットメイクされている銘柄

1306	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信
1321	NEXT FUNDS 日経225連動型上場投信
5401	日本製鉄
6920	レーザーテック
7203	トヨタ自動車
7974	任天堂
8035	東京エレクトロン
8058	三菱商事
8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ
9101	日本郵船
9983	ファーストリテイリング
9984	ソフトバンクグループ

2 個別株オプション(かぶオプ)取引の現状 ②

2月のかぶオプ取引状況 (出典:JPX)



コード	対象株券	MM対象	ランク	取引金額
1321	NEXT FUNDS 日経225連動型上場投信	○	★ 1	5,477,164,000
9984	ソフトバンクグループ	○	★ 2	2,606,025,000
8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	○	★ 3	1,721,305,000
9983	ファーストリテイリング	○	★ 4	1,548,150,000
7974	任天堂	○	★ 5	1,198,625,000
8035	東京エレクトロン	○	★ 6	1,079,250,000
6920	レーザーテック	○	★ 7	815,525,000
8058	三菱商事	○	☆ 8	536,930,000
7203	トヨタ自動車	○	☆ 9	484,220,000
5406	神戸製鋼所	-	☆ 10	408,000,000
9101	日本郵船	○	☆ 11	388,000,000
5401	日本製鉄	○	☆ 12	353,920,000
8473	SBIホールディングス	-	☆ 13	11,500,000
8001	伊藤忠商事	-	☆ 14	8,600,000
4902	コニカミルタ	-	☆ 15	6,000,000
1306	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	○	☆ 16	3,018,000
6981	村田製作所	-	☆ 17	2,240,000
2502	アサヒグループホールディングス	-	☆ 18	916,500
7012	川崎重工業	-	☆ 19	700,000
8031	三井物産	-	☆ 20	520,000
6594	ニデック	-	☆ 21	480,000
6501	日立製作所	-	☆ 22	460,000
2914	日本たばこ産業	-	☆ 23	400,000
8053	住友商事	-	☆ 24	320,000
8002	丸紅	-	☆ 25	240,000
1540	純金上場信託(現物国内保管型)	-	☆ 26	135,000
7201	日産自動車	-	☆ 27	40,000

金額: 想定元本ベース

かぶオプ事例集

3 取引の例 : コールオプションの買い

7974 任天堂 日足



7974 任天堂					
日付	株価	株・オプション	単価	単位	受渡代金
1月6日	9,070	2月限10000円C買	89.0	1枚	-8,900
2月12日	10,980	2月限10000円C売	981.5	1枚	98,150
合計					89,250

<取引の背景>

- 株価はエンタメ業界に対する期待で史上最高値圏で推移。
- 決算発表などのイベントを控え、持ち合っているとところで現物を買うか思案。
- 現物を買うにはまとまった資金が必要なので、少額の資金で買えるコールオプションを買うことに
- 2月限10,000円のコールオプションを利用。

<リスク>

- 株価が下がるとコールオプションは消滅し、最大買付代金が損失となる。

<結果>

- 株価は大きく上昇し取引最終日の前日（2月12日）に売却して89,250円の利益確定。
- 株が15%の上昇に対し、オプションは11倍のパフォーマンス

3 取引の例 : プットオプションの買い

6920 レーザーテック 日足



6920 レーザーテック					
日付	株価	株・オプション	単価	単位	受渡資金
10月10日	24,250	11月限23000円P買	1,132	1枚	-113,200
11月7日	19,900	11月限23000円P売	3,100	1枚	310,000
合計					196,800

<取引の背景>

- 半導体製造装置関連銘柄の業績伸び悩みの懸念
- 株価は安値圏を推移するも底割れの可能性あり
- もともと値動きが大きい銘柄なので、下落した時の値幅も大きいだろうと推測
- **11月限23,000円のプットを買う**

<リスク>

- 株価が上がるとプットオプションは消滅し、最大買付代金が損失となる。

<結果>

- 株価は大きく下落し取引最終日（11月7日）に売却して**196,800円**の利益確定。
- **約1.7倍のパフォーマンス**

3 取引の例 : コールオプションの買い まとめ

<コールオプションの買い>

株価上昇を睨んでコールオプションを買う

- ・ 思惑通り株価が上昇した場合は
 - ① 買ったコールオプションを売る
 - ② 権利を行使して株を買う

少額の資金で株価の上昇を享受

- ・ 値がさ株を買うのにはまとまった資金が必要になるが、オプションは少額の資金で済む
- ・ 大きなパフォーマンスを狙える

株価が下落した場合は買ったコールオプションはゼロになることに注意

3 取引の例 : プットオプションの買い まとめ

<プットオプションの買い>

株価下落を睨んでプットオプションを買う

- ・ 思惑通り株価が下落した場合は
 - ① 買ったプットオプションを売る
 - ② 権利を行使して株を売る

株価下落による現物の評価の目減りを回避

- ・ 株価が下落するとプットオプションのプレミアム(価格)が上昇し現物の目減りをカバー
- ・ 複数の銘柄を保有している場合はETF(上場投資信託)のプットオプションを使うのが有効

株価が上昇した場合は買ったプットオプションはゼロになることに注意

3 取引の例 : コールオプションの売り

8306 三菱UFJFG 日足



8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ

日付	株価	株・オプション	単価	単位	受渡代金
9月24日	1,482	現物買	1,482	1,000	-1,482,000
10月18日	1,644	11月限1800円C売	7.4	10枚	7,400
11月7日	1,767	権利消滅			
11月8日	1,768	12月限1800円C売	47.9	10枚	47,900
12月5日		配当金	25.0		25,000
12月12日	1,851	権利行使受(現物売)	1,800	1000株	1,800,000
合計					398,300

<取引の背景>

- 9月の配当取りを目的に株を買付

<取引>

- 現物を1,482円で1,000株買い
- 9月末を過ぎて株価が上昇してきたために売却を検討。
- 1,800円で売りたいもののそこまで上がるのに時間を要する可能性があり、オプションを利用。
- まず、11月限1,800円のコールオプションを売り、権利が消滅したところで、12月限1,800円のコールオプションを売る。
- 取引最終日に権利行使される。

<結果>

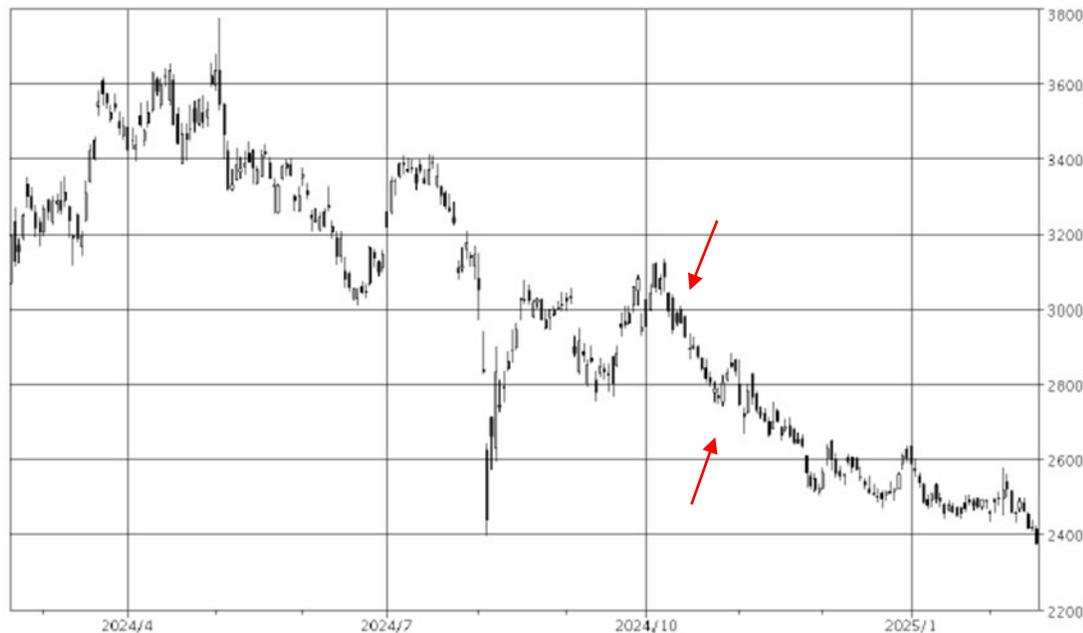
- オプションの権利行使受により希望通り1,800円で売却。
- 1,800,000円を受け取る。
- その間、オプションのプレミアム54,400円を受取っているの
で実質1,854,400円(1株=1,854.4円)で売却できた。
- 途中配当金も受け取っているの
で、それを含めた利益は
398,300円

<注意>

- 売り注文を出す時にコールオプションの利用を考えてみる。
ただし、すぐに売りたい場合は、オプションを使わずに通常
の注文を出すこと。

3 取引の例 : プットオプションの売り

8058 三菱商事 日足



日付	株価	株・オプション	単価	単位	受渡代金
10月9日	2,945	11月限2800円P売	41.5	10枚	41,500
11月7日	2,768	権利行使受（買付）	2,800	1,000	-2,800,000
合計					-2,758,500

<取引の背景>

- マレーシアLNG権益の報道で上昇していた相場が調整に入り3,000円を割ってきたところで買いを検討。
- 2,800円で指値をする代わりに、オプションを利用

<取引>

- 11月限2,800円のプットオプションを10枚（現株1,000株分）を売り。取引最終日を待つ（ターゲットバイイング）。
- 取引最終日の株価終値は2,768円で2,800円のプットオプションは権利行使される。
- プットオプションを売っていたので、現物を行使価格の2,800円で買うことに。
- 2,800,000円を新たに支払うことになるも、最初にプレミアム41,500円を受取っているため、実質2,758,500円の支出。

<結果>

- 当初2,800円で買う予定のものが、2,758.5円で買うことが出来た。

<注意>

- 買い指値をする時にプットオプションの利用を考えてみる。ただし、すぐに買いたい場合は、オプションを使わずに通常の注文をすること。

3 取引の例 : オプションの売り まとめ

「かぶオプの売り(新規)」においては、下記の2つの取引をお使いいただけます

<カバード・コール>

現物を保有しながらコールオプションを売る戦略

カバード・コールで期待できる効果

- ・配当利回りを上回るパフォーマンスが狙えます
- ・指値をして株を売るよりもお得に売ることが出来ます
- ・株価の値下がりカバー出来ます

<ターゲット・バイイング>

現金を預けてプットオプションを売る戦略

ターゲット・バイイング期待できる効果

- ・指値をして買うよりもお得に買うことが出来ます
- ・毎月利息を得るような利益が狙えます

光世証券での取引ルール ①

<デリバティブ口座の開設基準など>

- ◇ オプション、ミニ先物 : お預り資産 50万円
- ◇ 先物口座(ラージ系) : お預り資産 300万円
- ◇ お預かり資産の維持基準 : 特にありません
- ◇ ナイトセッション : 取り扱いはありません

光世証券での取引ルール ②

<かぶオプ新規買い>

- ◇ 先物・オプション口座に受渡し相当額の現金があること
- ◇ 当日・指値注文のみ

<かぶオプ新規売り>

- ◇ コールは、対象の銘柄が保護預り口座にあること
- ◇ プットは、先物・オプション口座に行使価格での買い付け相当額の現金があること
- ◇ 当日・指値注文のみ

光世倶楽部(オンライン取引)での税込手数料

- ◇ 指数先物 : 約定代金 × 0.022%
- ◇ 国債先物 : 額面金額 × 0.0044%
- ◇ **かぶオプ** : **約定代金 × 1.10%**
- ◇ 指数オプション : 約定代金 × 1.10%
- ◇ 国債先物オプション: 約定代金 × 0.44%

※上記による算出額が440円に満たない場合は、440円

※**かぶオプ**で株式の売買が伴う場合は**通常**の対面手数料の

50%割引キャンペーン実施中

税金

<オプションのみの売買で利益が出た場合の課税>

- ◇ 申告分離課税
- ◇ その他の先物等と損益通算が可能

<現物の売買が伴う場合>

- ◆ オプションのプレミアムは現物の買付代金・売却代金に含める
- ◇ 特定口座の源泉徴収ありを選択していると税金は自動的に徴収